

今日のキーワード 今日から「春節」休暇（中国）

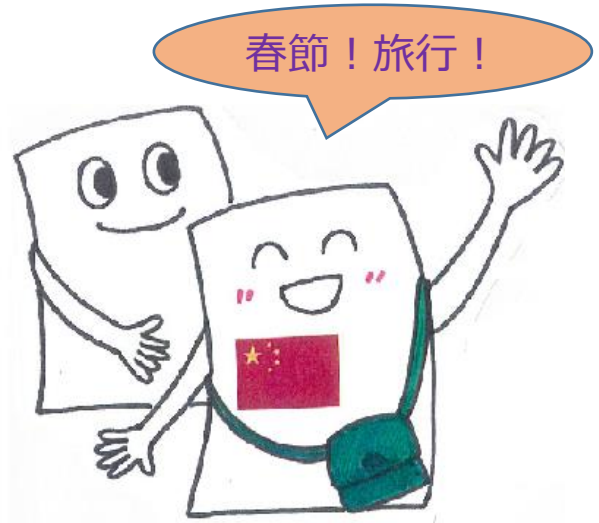
「春節」は、中国の三大節句（春節・端午節・中秋節）のひとつで、旧暦の元旦（旧正月）のことです。旧暦のため、「春節」の期日は年によって変わりますが、毎年概ね1月半ば～2月半ばの期間となります。2017年の「春節」は1月28日で、休暇期間は1月27日～2月2日の7日間です。中国では新暦の正月よりも「春節」を盛大に祝う慣習があり、多くの人が帰省や旅行をするなど、消費に与える影響も大きくなっています。

ポイント1 「春節」の旅行客数は過去最高の予測 海外旅行は600万人の見込み

- 中国国家観光局は20日、17年の「春節」連休の観光旅行ガイドを発表しました。17年は、旅行がこれまでで最も盛んな「春節」になるとみられ、連休期間に、のべ3億4,300万人が観光すると見込まれています。これは、前年同期比で13.6%の増加とされています。
- 「春節」の海外旅行については、前年並みの約600万人が出かけると予測されています。

ポイント2 海外旅行消費は堅調 観光消費は日本が2番目

- 中国の大手旅行サイト・携程旅游グループの「2016年中国人観光消費報告」によると、16年の旅行支出総額の65%を海外旅行が占め、海外旅行人気が高まっていることを示しました。
- また、16年の中国人観光客の観光消費が多かった上位10カ国は、上から順に、タイ、日本、韓国、米国、モルディブ、インドネシア、シンガポール、オーストラリア、イタリア、マレーシアでした。日本は中国人が2番目にお金を使った国となっています。



今後の展開 「春節」のインバウンド消費に期待

- 日本政府観光局が17日に発表した2016年の訪日外国人旅行者数（推計値）は、前年比+21.8%の2,403.9万人となり、過去最多となりました。中でも中国は、前年比+27.6%の637万人と、最大の訪日旅行国となっています。リピーターも増えるなど、中国人訪日旅行者数は増加を続けています。
- 「春節」休暇は、中国に限らず、台湾や香港など、中華圏の大型連休です。中国人の“爆買い”は収まりましたが、今年の「春節」も多くの外国人が訪日し、日本のインバウンド消費を支えそうです。

ここも
チェック! 2017年 1月20日 最近の指標から見る中国経済（2017年1月）
2016年12月22日 2017年中国経済の見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。